

令和5年度 第1回日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事録

会議名	令和5年度 第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議	
日時	令和5年8月17日（木）15:00～17:00	
場所	日向市役所 庁舎4階 委員会室	
出席者	推進会議	福島委員、松下委員、野口委員、岩田委員、下田委員、新名委員、河野委員、平田委員、横山委員、鈴木委員、井上委員、大野委員、山元委員、木村委員 （欠席者）植田委員、黒木委員
	事務局	日高部長、長山課長、黒本課長補佐、瀧山主任主事、野村主任主事、高村主事
会次第	<p>1、開会あいさつ</p> <p>2、委嘱状の交付</p> <p>3、日向市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議について 昨年度に選定した会長 福島委員、副会長 松下委員を紹介</p> <p>4、第2期日向市総合戦略の概要について 資料3</p> <p>5、審議事項</p> <p>（1）総合戦略に基づく施策等の取組状況及び成果の検証について</p> <p>① 第2期日向市総合戦略成果検証報告書（案）について 資料4</p> <p>② 地方創生関連交付金の効果検証について 資料5</p> <p>（2）日向市総合戦略の見直しについて 資料6</p> <p>6、その他</p>	

■審議事項 議事録

（1）総合戦略に基づく施策等の取組状況及び成果の検証について

①第2期日向市総合戦略成果検証報告書（案）について

資料4に沿って、基本目標別に事務局が説明を行い、質疑応答を行った。

1. 未来へつなげる人づくり

発言者	内 容
委員	<p>重点プロジェクト1－2 総括について</p> <p>「特定教育・保育施設における利用定員数については、施設基準を満たす施設がないため、やや目標値を下回った」と記載があるがどのようなことか。また、利用定員数が前年に比べて下がっている。待機児童はいないということだが、今後、日向市として子どもを増やしていくのであれば定員数が減るのは良くないと思う。</p>
事務局	<p>記載内容の意味としては新規の施設がなかったという意味で記載している。利用定員数が前年と比較して下がったのは施設側の申し出により減少している。</p>
委員	<p>記載されている内容がそぐわないと思うがどうか。</p>
事務局	<p>記載内容について担当課に確認し修正させて頂きたい。</p> <p>※会議終了後に確認を行い、記載内容を「特定教育・保育施設における利用定員数については、利用児童数の現状により定員を下げた施設がありました」と修正しました。</p>
委員	<p>全体について</p> <p>今年9月に市民アンケートを実施とあるが対象人数等を教えてほしい。</p>
事務局	<p>18歳以上の市民2,000人を無作為抽出し、郵送でアンケート用紙を送付している。今回はWEBを使った回答もできるようにし、回答率の向上を期待している。</p>
委員	<p>1－3－6 若者（ワケモン）の活動支援について</p> <p>ひまわり塾について高校生ともっと連携をするなど塾生の確保に力を入れるべきではないか。</p>
事務局	<p>ひまわり塾については一昨年よりSDGsを1つのテーマとし、本市の地方創生にどのように寄与できるかといったことを研究してもらっている。</p>

戦略2. 活力を生み出すにぎわいづくり

発言者	内 容
委員	重点プロジェクト2-1 総括について 企業誘致に必要な工業用地の不足が課題となっているが、内陸型工業団地に取り組む予定はないのか。
事務局	山林を含めて市が確保している土地はあるが、造成にかかる費用も踏まえて検討していきたい。今年度適地調査の委託事業を行っており、新たな掘り起こしをしていきたいと考えている。
委員	重要業績評価指数（KPI）について 重要業績評価指数（KPI）の目標値が「ふるさと日向市応援寄付金事業者数」となっているが、寄付額を目標にした方がいいのではないか。
事務局	ふるさと納税について、今年度から新たな取組として事務の委託を進めている。返品について、本市の特産品を有効活用しながら寄付の獲得に取り組みたい。
委員	2-2-4 資源循環型林業システムの推進について 森林伐採に対して造林が間に合っているのか気になっている。大きな台風が来た際、耳川が泥水になる状態が続いている状況で、伐採の影響もあると思う。再造林の取組をすすめてもらいたい。
事務局	人員不足により、伐採後の再造林が順番待ちの状況が続いていると聞いている。再造林率については、担当課に状況を確認して回答したい。 ※会議終了後に確認を行ったところ、令和2年度の本市の再造林率は80.0%となっております。なお、造林は、複数年にわたり行われることから、直近は令和2年度分の実績となりますことをご理解ください。
事務局	本日欠席の委員より事前に質問を頂いている。 <u>事前に頂いた意見</u> 「移住者を増やすためにも市街化調整区域等の法的な縛りを緩和して、移住された方が気に入った土地に家を建てられるようにしてはどうか。」 市街化調整区域に関しては住環境や自然環境を保護するというのが一つの大きな目的になっている。また、調整区域自体は県が定める都市計画区域マスタープランで定めているので、今後県とも連携を図っていきたい。 しかし、現状についても既存の建物の建て直しであれば可能といった事例もあり、場所によって条件が異なると聞いているので今後も国や県と協議していく必要があると考えている。

戦略3. 活力を生み出すにぎわいづくり

発言者	内 容
委員	<p>3-3-1 地域コミュニティの維持、支援について</p> <p>区の未加入世帯が多い。市役所で転入手続きの際に加入促進の案内をしていたり、宅建業組合と連携して家賃の中に区費を合わせて徴収するなどの取組をしているが加入率がなかなか上がらない。</p>
事務局	<p>非常に重要な課題だと認識している。担当課でも加入率を増やす取組を行っており、今後も引き続き取り組んでいきたい。</p>
委員	<p>3-3-4 中山間地域の活性化について</p> <p>中山間地域の活性化に向けた指標として「過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数」が掲げられているが実績のほとんどがイベント事業として使われているため、指標の見直しが必要ではないか。</p>
事務局	<p>過疎地域での取組として、令和4年に策定した「日向市東郷地域振興計画」に沿って取組を進めている。今後、担い手育成などについて計画の検証をしていきたい。</p>
委員	<p>重点プロジェクト3-2 重要業績評価指数（KPI）について</p> <p>小学生の歯科治療率の実績が下がっている。要因は分析しているか。</p>
事務局	<p>担当課としては、コロナ禍により歯科治療の受診控えにより、治療中断が多いという要因分析をしている。</p>
委員	<p>戦略3における数値目標について</p> <p>要介護認定率の目標値をクリアしている。目標値の見直しが必要ではないか。</p>
事務局	<p>指標に関しては次期総合計画の策定の際、どのような指標の設定が適切かどうか、審議会にも諮りながら進めていきたいと考えている。</p>

戦略4. 自然豊かで快適な強いまちづくり

発言者	内 容
委員	戦略4における数値目標について ごみのリサイクル率が目標値に達しておらず、期間中によほどのことがないと達成できないのではないかと。対策をみるとこれまで同じような取組を繰り返しておりもっと強い取組が必要ではないかと。
事務局	項目によっては目標値の達成が難しくなっているものも確かにある。 担当課からの聞き取りによると、ごみのリサイクル率について、コロナ禍が大きな要因となり戸別訪問ができなかったと聞いている。
委員	ごみ総排出量を下げることがどうすればいいのかという考え方で取り組めばリサイクル率の向上につながるのではないかと。
事務局	リサイクル率の向上については、自然環境を守る観点から取り組んでおり、清掃センターの延命化といったことにもつながってくる。ごみの総排出量については徐々に減ってきており、その分資源ごみの排出量も下がっていることからリサイクル率にも影響している。 目標値の設定については次期日向市総合戦略の中で検討していきたい。
委員	4-1-3 国土強靱化の推進について 現在、下水道事業について地区説明会などを行っていると思う。この報告書にも記載が必要ではないかと。
事務局	記載の有無については担当課に確認し、後日報告させていただきたい。 ※会議終了後に検討を行った結果、第2期日向市総合戦略成果検証報告書の主旨に沿わないことから記載しないこととしました。

○総括について

発言者	内 容
委員	要介護認定率やごみのリサイクル率など、計画期間中に目標値の見直しをできるようにするとよいのではないかと。
事務局	本計画の期間が来年度までとなっており、現在、次期計画の策定について取り組んでいることから、今後の検討課題とさせて頂きたい。

② 地方創生関連交付金の効果検証について

資料5について事務局から説明。⇒委員からの意見等は特になし。

(2) 日向市総合戦略の見直しについて

資料6について事務局から説明。⇒委員からの意見等は特になし。